宗祇集

蛩

いたづらに身をたきすつるむしよりも
もえてつれなき影ぞわりなき

河蛩と云う事を

さざれいしのおもひは見えぬ中川に
おのれ打出でて行くほたるかな

夜蛩

終夜ねをなくむしのおもひをぞ
ほたるよりけにもゆるとはみる

閨理火

うづみ火もほたるばかりにふくるまの
ね覚えよ夏のいくよをかえし

「国歌大観」より